

第46回衆議院総選挙 立候補予定者の皆様へ (1/2)

1、今後の日本の原子力政策について、ご自身の考えに最も近いものをお選びください。

- 直ちに全ての原発を廃炉にする。
- 安全の確認された原発のみ稼働させ、10～20年以内に原発ゼロを目指す。
- 原発の依存度は下げるが、将来的な原発ゼロには反対。
- 原発の推進をはかる。
- どれでもない。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)  
 2012年4月7日に「国民連合」を構成する各党は、共同提出した「原発安全基本法案」を成立させ、2022年3月11日までの「原発ゼロ」を目標に掲げ、脱原発の推進に高志を示している。一方、中核の民主党は、原発の安全確保と安定供給の確保、原発の稼働による電力供給の確保、自然エネルギーの活用による環境負荷の軽減などを掲げ、脱原発の推進には反対である。北海道は、自然エネルギーの活用による環境負荷の軽減と、安定供給の確保を重視している。北海道の立場として、安全確認された原発のみ稼働させ、10～20年以内に原発ゼロを目指す。将来的な原発ゼロには反対である。

2、北海道電力 泊原子力発電所について、ご自身の考えに最も近いものをお選びください。

- 直ちに廃炉にする。
- 道内の電力使用状況に合わせ、安全確認を行いながら再稼働させる。
- （ 年以内に廃炉 / 特定の廃炉日は設けない）案いずれかを○でお選びください。
- 道内の冬の安定した電力供給のため、今すぐ再稼働すべき。
- どれでもない。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)  
 脱原発の推進に反対。西の電力供給には、北海道の電力供給は不可欠である。道内各地の判断として、その自治体の状況に応じて、脱原発の推進を断念する。道内各地の判断として、その自治体の状況に応じて、脱原発の推進を断念する。道内各地の判断として、その自治体の状況に応じて、脱原発の推進を断念する。道内各地の判断として、その自治体の状況に応じて、脱原発の推進を断念する。

3、電源開発による菅野川大間原発の建設再開について、ご自身の考えに最も近いものをお選びください。

- 直ちに建設を断念すべき。
- 道南各自治体および北海道への説明をしっかりと行い、慎重に建設の是非を議論すべき。
- 建設再開を支持する。
- どれでもない。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)  
 直ちに建設を断念すべき。道南各自治体および北海道への説明をしっかりと行い、慎重に建設の是非を議論すべき。建設再開を支持する。どれでもない。

第46回衆議院総選挙 立候補予定者の皆様へ (2/2)

4、幌延町の深地層研究センターについて、高レベル放射性廃棄物の最終処分場の有力候補とされていますが、幌延には稚内から続く活断層もありその危険性が指摘されています。この件についてご自身の考えに最も近いものをお選びください。

- 断固として認められない。
- 慎重に安全性の確認を行い、道や自治体と議論の上、受け入れの是非を決めるべき。
- 幌延町の経済発展にも繋がるので、安全性の確認の上で受け入れるべき。
- どれでもない。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)  
 断固として認められない。慎重に安全性の確認を行い、道や自治体と議論の上、受け入れの是非を決めるべき。幌延町の経済発展にも繋がるので、安全性の確認の上で受け入れるべき。どれでもない。

5 (1)、道庁前原発抗議行動について、私たち北海道原発連合では、毎週金曜夜に道庁北門前にて反原発抗議行動を行っております。約20回続いておりますが、この抗議行動をご存知ですか？また、私たちの行動は原発問題にフォーカスしていますが、市民一人一人が日本の社会の問題に意思表示をすべく行動していることについて、ご意見等ございましたら備考欄にご記入願います。

- 知っている。
- 知らなかった。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)  
 知っている。知らなかった。

5 (2)、私たちの道庁前抗議行動に参加したいと思いますか？

- 参加したことがある（官邸前 / 道庁前 / その他地域にて）
- 機会があれば参加したい
- 考えていない
- 参加したくない。

氏名 吉米地 隼人

お疲れさまでした。ご協力に感謝します。